自然林保全事業

事業の位置づけ　一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	53-0101	実施計画	
施策	03	身近な緑・水辺環境の保全と創出	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	緑・水辺の保全	担当	市民生活部 農業支援室		

事業の概要（目的、手段）

事業目的と概要（02年度分）	対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
	松、ナラ・カシ類（高度公益機能森林内） 高度公益機能森林：水源かん養機能、山地災害防止機能が高く、各種防除措置を実施して保全していく森林	○尾張旭市森林整備計画に基づき、事業を実施する。 ○実施に当たっては、毎年度、実施計画書を県に提出する。（県補助事業） ○森林病害虫等防除 ＜マツクイムシ対策＞ ・樹幹注入（実施時期：11月～3月） 　健全な松に薬剤を注入することにより樹幹内へのセンチュウの侵入と増殖を防ぐ。 ・伐倒駆除（実施時期：11月～3月） 　被害木を伐倒・破砕することによりカミキリの幼虫及びセンチュウを駆除する。 ＜カシノナガキクイムシ対策＞ ・樹幹注入（実施時期：4月～7月） 　健全木(ナラ・カシ類)にカシノナガキクイムシが樹幹内に持ち込むナラ菌の繁殖を抑制する薬剤を注入することにより被害を事前に防止する。 ・伐倒駆除（実施時期：9月～3月） 　被害木(ナラ・カシ類)にくん蒸駆除薬剤を注入してカシノナガキクイムシ及びナラ菌を殺虫殺菌し伐倒する。
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
	高度公益機能森林内の松林などが保全されている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

			指標名称	単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績
指標・事業費	活動指標	A	保全すべき松等本数	本		72	72	72
		B	樹幹注入による病害虫防除	本		8	13	15
	成果指標	C	枯れた松等の本数	%		0	0	0
		D						
	事業費　計			千円	221	143	310	198
	財源内訳		ア 国					
			イ 県		42	13	229	14
			ウ 地方債					
			エ その他					
			オ 一般		179	130	81	184

R02年度実績の評価

成果実績評価		
	【活動指標の状況】 **順調** 【成果指標の状況】 **維持・横ばい** 【成果向上余地】 **余地が小さい・なし**	事業を継続することで森林病害虫の発生を抑制できている。

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価			
	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	―

吉賀池湿地保全事業

事業の位置づけ　　一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	53-0102	実施計画	
施策	03	身近な緑・水辺環境の保全と創出	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	緑・水辺の保全	担当	市民生活部 農業支援室		

事業の概要（目的、手段）

事業目的と概要（02年度分）

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
吉賀池湿地、市民	貴重な植物等が生息する吉賀池湿地を保全する。 ・吉賀池湿地の維持管理と植生調査等を委託 ・平成9年、19年度に設置した井戸の保守点検を実施 ・平成20年度に井戸の浚渫を実施 ・経年劣化している木道の修繕及び整備を実施 ・令和元年度から木道改修工事を実施（～令和2年度） 市民に自然と触れ合う場を提供するため、一般公開を開催する。 ・毎年4月、6月、8月、9月、10月初め、10月末に開催 ・団体見学は随時募集 ・一般公開時のボランティアを募集（平成25年度～） ・一般公開時に寄付金を募集（平成26年度～）
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
貴重な植物が生息する吉賀池湿地を保全し、市民が自然と触れ合う場を提供することにより自然環境保全の意識が高まっている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標・事業費

		指標名称	単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績
活動指標	A	一般公開及び自然観察会の開催数	回	15	16	14	15
	B						
成果指標	C	来場者数	人	1,121	1,225	1,500	1,985
	D						
事業費　計			千円	3,212	5,480	10,280	7,778
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		27	185	539	482
		オ 一般		3,185	5,295	9,741	7,296

R02年度実績の評価

成果実績評価

【活動指標の状況】 **順調** 【成果指標の状況】 **向上（最高状態維持含む）** 【成果向上余地】 **余地が小さい・なし**	（状況）来場者数は昨年度実績と比べ62.0%向上している。 （原因）一般公開日が雨天のため１回中止になったが、メディア等で取り上げられた影響で来場者数が増えた。また、小学生の団体見学があったため数値が向上した。

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価

R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	－

河川水質の浄化推進事業

事業の位置づけ　　一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	53-0103	実施計画	
施策	03	身近な緑・水辺環境の保全と創出	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	緑・水辺の保全	担当	市民生活部 環境課		

事業の概要（目的、手段）

事業目的と概要（02年度分）		
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市内の河川（矢田川、天神川）	
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	河川水質について現状が把握され、水質汚濁の防止が推進されている。	
手段（事務事業の内容、やり方、手順）	生活排水対策を推進し、生活排水による水質の汚濁を防止するため、生活排水対策推進計画（計画期間H31～H40）を策定し、事業を実施。 広報やHPにより、地域住民に生活排水対策についての情報を提供し水質保全につなげる。 河川の水質状況を把握するため、定期的に水質調査を実施する。 ・河川水質定点調査の実施（年 12回／2地点） 小学生を対象に「水生生物調査」を実施し、環境保全への理解促進と意識の高揚を図る。 市民を対象として環境の日に合わせて「流域モニタリング」の参加者を募集し、また市内小中学生を対象とした「水質パトロール隊」も併せて募集することで、河川等の環境に対する理解を図る。 ・市民を対象に生活排水対策についてのリーフレットを配布し、家庭でできる水質汚濁防止を啓発する。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

区分		指標名称	単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績
活動指標	A	調査項目検体数	検体	195	206	193	72
活動指標	B						
成果指標	C	BOD計画目標値の達成率	%	85	95	80	95
成果指標	D						
事業費　計			千円	498	495	50	22
財源内訳	ア	国	千円				
財源内訳	イ	県	千円				
財源内訳	ウ	地方債	千円				
財源内訳	エ	その他	千円				
財源内訳	オ	一般	千円	498	495	50	22

R02年度実績の評価

成果実績評価	
【活動指標の状況】 **順調** 【成果指標の状況】 **維持・横ばい** 【成果向上余地】 **余地が小さい・なし**	（状況）R2に検査回数の見直しや県調査と重複している検査項目の精査を実施した。BOD計画目標値の達成率はR元実績と同水準であり、高い水準で当初の目標を達成した。 （原因）過去には冬季に基準値より高い数値が複数地点で計測され達成率が悪化したが、R元以降は著しい水質の悪化は見られていない。 冬季は水温の低下に伴い浄化施設の処理能力が低下し数値が悪化する傾向があるとともに、検査の前に降雨が少ない場合も数値が悪化する傾向がある。

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価		
R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	―

保存樹等保全助成金

事業の位置づけ　　一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	53-0104	実施計画	
施策	03	身近な緑・水辺環境の保全と創出	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	緑・水辺の保全	担当	都市整備部 都市整備課		

事業の概要（目的、手段）

事業目的と概要（02年度分）		
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	保存樹等、樹木所有者	
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	保存樹等が適正に管理され保全されている。	
手段（事務事業の内容、やり方、手順）	保存樹等に指定された樹木の所有者に対し、維持管理費の一部を助成する。 〈指定基準〉　※申し出に対して随時審査・指定を行なう。 ・保存樹 　樹木の1.5mの高さにおいて幹の周囲が1m以上のもの 　樹木の高さが12m以上のもの ・保存樹林 　樹木が集団的に育成し、その土地の面積が300㎡以上のもの 〈助成の額〉 ・保存樹1本当たり2,500円／年 ・保存樹林1地区当たり10,000円／年以内	

活動指標、成果指標、事業費の推移

区分		指標名称	単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績
活動指標	A	助成金の額	千円	68	68	74	93
活動指標	B						
成果指標	C	適正に管理されている保存樹等の割合	%	100	100	100	125
成果指標	D	新たに指定した保存樹・保存樹林の数	本	0	7	3	0
事業費　計			千円	68	68	93	93
財源内訳	ア	国	千円				
財源内訳	イ	県	千円		22		30
財源内訳	ウ	地方債	千円				
財源内訳	エ	その他	千円	67	45	93	63
財源内訳	オ	一般	千円	1	1		

R02年度実績の評価

成果実績評価	
【活動指標の状況】 **順調** 【成果指標の状況】 **維持・横ばい** 【成果向上余地】 **余地が中程度**	（状況）適正に管理されている保存樹等の割合が上昇した。新規指定の保存樹・保存樹林はなし。 （原因）助成制度の周知不足が要因と考えられ、更なる周知が必要。

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価			
R02年度実施取組方針		本部方向性	維持
R02年度実施取組方針の実績評価		実施状況	―

緑化助成事業

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	53-0201	実施計画	
施策	03	身近な緑・水辺環境の保全と創出	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	緑の創出と育成	担当	都市整備部 都市整備課		

事業の概要（目的、手段）

事業目的と概要（02年度分）	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	**手段（事務事業の内容、やり方、手順）**
①　自己用住宅取得者 ②　生垣設置者 ③　民有地の敷地等に緑化をする者	①住宅取得記念樹事業 　自己用住宅を取得した者にその記念として敷地内に植樹することに対してその経費の一部を助成する。 　　自己用住宅を取得したことが明らかな書類（建築確認検査済証、家屋登記簿、購入　契約書等）の提示により記念樹引換券（2,000円分）を交付 ②生垣設置助成事業 　準公共空間である公道に面している箇所で、要件に適合した生垣を設置する者に対し、助成する。 　・新たに生垣を設置するとき1m当たり2,000円（限度額60,000円） 　・ブロック塀から生垣に転換するとき1m当たり3,000円（限度額90,000円） ③都市緑化推進事業 　駐車場、壁面、屋上や宅地の緑化に対してその工事費の一部を補助する。 助成制度の周知については、市広報、ホームページへの記事掲載、税務課家屋調査時における制度の啓発により行っている。
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
緑化の推進により、身の回りの緑が増えている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標・事業費		指標名称	単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績
活動指標	A	生垣設置助成箇所数	件	1	0	7	1
活動指標	B	住宅取得記念樹助成申請件数	件	133	109	200	170
成果指標	C	助成を行なった生垣の延長	m	14	0	140	25
成果指標	D	記念樹引換件数	件	122	109	200	170
事業費　計			千円	492	1,288	4,300	1,148
財源内訳		ア 国	千円				
財源内訳		イ 県	千円	222	1,050	3,500	858
財源内訳		ウ 地方債	千円				
財源内訳		エ その他	千円	240	224	800	240
財源内訳		オ 一般	千円	30	14		50

R02年度実績の評価

成果実績評価	
【活動指標の状況】 **順調** 【成果指標の状況】 **向上（最高状態維持含む）** 【成果向上余地】 **余地が中程度**	（状況）生垣設置助成の申請、記念樹引換ともに前年度を上回った。 （原因）市広報、ホームページ掲載等により、助成制度の活用について啓発を行ったため。

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価		
R02年度実施取組方針	本部方向性	見直し
●制度の周知方法を見直します。		
R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	○
市広報、ホームページ掲載等により、助成制度の活用について啓発を行った。		

緑化推進事業

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	53-0202	実施計画	対象
施策	03	身近な緑・水辺環境の保全と創出	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	緑の創出と育成	担当	都市整備部 都市整備課		

事業の概要（目的、手段）

事業目的と概要（02年度分）

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
①②地域住民によるボランティアグループ ②シンボルロード、尾張旭・旭前・印場駅前広場　③⑥市民 ④⑥公共施設（道路、公園、学校等）	【都市計画マスタープラン掲載重点事業】 ①スポットガーデン維持管理 スポットガーデンの整備については、市と地域住民によるボランティアグループとの協働により行う。市は、花壇の築造、案内標識の設置、維持管理に必要な資機材の提供等を行い、ボランティアグループは、花壇の企画、維持管理などを適時行う。 ②花苗植替（消耗品費） フラワーポット設置箇所に、1年を通して花が咲くように水やり等の維持管理を行なう。また適時（春、秋）花のを植替えを実施する。 ③家庭緑化推進（消耗品費） 公共施設窓口及び各小学校にてひまわりの種を配布する。（7,000袋） ④公共施設緑化（緑化推進事業植栽工事） 施設管理者と植樹計画について調整を行い、当該敷地内における植樹を実施する。 ⑤愛知県緑化推進委員会負担金 上記委員会へ加入し負担金の支払、各種研修の参加、緑化行政動向の把握をする。 ⑥緑化推進基金積立金 公共施設(市役所、公民館等）に募金箱を設置し寄付を募る。 基金の積立及び一部取崩しにより、緑化推進事業植栽工事等の事業へ充当する。
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
①フラワーポットの維持管理 ②緑の育成や環境美化に対する市民意識の高揚 ③家庭緑化推進 ④公共施設の緑化推進 ⑤適切な緑化行政を推進する体制の構築 ⑥緑あふれるまちづくりに要する費用への充当 がされている	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標・事業費

		指標名称	単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績
活動指標	A	公共施設における植樹本数	本	3,987	2,650	500	68
活動指標	B	ボランティア活動報奨金	千円	432	376	470	305
成果指標	C	公共施設の緑化推進事業箇所数	箇所	4	2	3	4
成果指標	D	スポットガーデン総面積	㎡	135	116.4	150	116.4
事業費　計			千円	13,548	14,162	3,606	3,150
財源内訳	ア	国	千円				
財源内訳	イ	県	千円	3,270			
財源内訳	ウ	地方債	千円				
財源内訳	エ	その他	千円	8,432	13,100	3,521	2,219
財源内訳	オ	一般	千円	1,846	1,062	85	931

R02年度実績の評価

成果実績評価

【活動指標の状況】 **順調** 【成果指標の状況】 **維持・横ばい** 【成果向上余地】 **余地が小さい・なし**	（状況）公共施設の緑化推進事業箇所数は増加している。スポットガーデン総面積が対前年度と変化なし。 （原因）積極的に緑化推進を行ったことが箇所数増加繋がっている。また、引き続きボランティア団体等への継続した活動支援が必要。また、既存の団体の高齢化が進んでいるため、新たな団体を育成していく事も必要となってきている。

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価

R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	―

城山公園桜更新事業

[1334]

事業の位置づけ　　一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	53-0203	実施計画	
施策	03	身近な緑・水辺環境の保全と創出	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	緑の創出と育成	担当	都市整備部 都市整備課		

事業の概要（目的、手段）

事業目的と概要（02年度分）		
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	・城山公園 ・公園利用者（市民）	
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	市民が緑に触れ合い、景観を楽しむことができる公園となっている。	
手段（事務事業の内容、やり方、手順）	尾張旭市唯一の総合公園であり、春には桜祭りが行われている城山公園に植樹されている桜を適正に管理して行くため、平成３０年度に策定した桜更新計画に基づいて事業を進める。 ＜更新計画＞ 　植樹地区を４つに分け、生育不良と評価された桜を各地区数本の植替えを行う。植替え樹種は病気に強い「ジンダイアケボノ」での植栽を行う。 平成３０年度　　桜更新計画策定 平成３１年度～　桜更新工事	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標・事業費		指標名称	単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績
活動指標	A	更新した桜の本数	本		12	12	11
活動指標	B		％				
成果指標	C	生育不良の桜のうち、更新した桜の割合			11	22	21
成果指標	D						
事業費　計			千円		1,783	2,000	1,915
財源内訳	ア	国	千円				
財源内訳	イ	県	千円				
財源内訳	ウ	地方債	千円				
財源内訳	エ	その他	千円		1,783	2,000	1,915
財源内訳	オ	一般	千円				

R02年度実績の評価

成果実績評価	
【活動指標の状況】 **順調** 【成果指標の状況】 **向上（最高状態維持含む）** 【成果向上余地】 **余地が大きい**	（状況）順調に更新した桜の割合が増加している。 （原因）桜更新計画に合わせた整備を行うことで着実に向上していく。

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価		
R02年度実施取組方針	本部方向性	新規
R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	―

矢田川散歩道整備事業

事業の位置づけ　一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	53-0302	実施計画	対象
施策	03	身近な緑・水辺環境の保全と創出	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	緑・水辺とふれあえる場づくり	担当	都市整備部 都市整備課		

事業の概要（目的、手段）

事業目的と概要（02年度分）	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	**手段（事務事業の内容、やり方、手順）**
矢田川河川敷、市民	【都市計画マスタープラン掲載重点事業】 市南部の緑の環境軸である矢田川河川敷に散策路を整備する。併せて植樹等により緑化を行う。 平成16年度　基本計画策定（住民との協働） 平成17年度　水辺協議会設立(地域住民、教育関係者等参加)、調査設計 平成18年度～　散歩道調査設計、意見交換会、整備工事 平成30年度～　自転車道整備基本設計、詳細設計、意見交換会、 令和2年度～　整備工事 ※市民団体による自主的な維持管理などの活動を目指し、計画策定段階からワークショップを開催し、整備箇所についても協働により進める。 ※やすらぎ歩道接続点から上流の散歩道延伸は愛知県の河川改修整備後に行う。
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
市民が自然とふれあい、景観を楽しみながら散策できるようになっている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標・事業費		指標名称	単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績
活動指標	A	矢田川散策路の整備延長（単年度）	m	429	0	1,000	300
活動指標	B	ワークショップ等開催回数（ワークショップ、協議会、清掃作業、自然観察会など）	回	4	3	2	0
成果指標	C	矢田川散策路事業進捗率	%		89	89	89
成果指標	D						
事業費　計			千円	8,516	2,750	12,500	12,508
財源内訳		ア 国	千円				
財源内訳		イ 県	千円	1,200	1,100	5,000	5,000
財源内訳		ウ 地方債	千円				
財源内訳		エ その他	千円				
財源内訳		オ 一般	千円	7,316	1,650	7,500	7,508

R02年度実績の評価

成果実績評価	
【活動指標の状況】 **順調** 【成果指標の状況】 **維持・横ばい** 【成果向上余地】 **余地が小さい・なし**	（状況）事業進捗率は変化していない。 （原因）愛知県の河川改修に合わせる必要があるためである。

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価		
R02年度実施取組方針	本部方向性	拡大
●自転車道の整備を進めます。		
R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	○
「自転車に乗りやすいまち」を実現するため、今年度は約300m自転車道の整備を行った。		

自然環境基礎調査事業

[1273]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	53-0901	実施計画	
施策	03	身近な緑・水辺環境の保全と創出	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	09	（施策の総合推進）	担当	市民生活部 環境課		

事業の概要（目的、手段）

事業目的と概要（02年度分）	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	**手段（事務事業の内容、やり方、手順）**
市域内の自然環境	平成２７年３月に中間見直しを行った「尾張旭市環境基本計画（計画期間H19～H35）【中間見直し版】」に基づき生物多様性の保全に関する取り組みを効果的に推し進めていくため、市内の自然環境の分布や動植物の生息・生育状況に関する実態調査を行う。（法令の規定に基づく調査ではない。） ＜手順＞ ・平成１２年度に実施した自然環境基礎調査の報告書を踏まえ、市内における既存の自然環境に係る調査資料等を収集整理する。 ・自然環境の保全活動を行う市民団体等へのヒアリング調査を行い、自然環境及び動植物の生育状況に関する時点修正を行う。 ・市内の自然環境の特性を表わす環境指標種及び特定外来種の選定及び調査地点を検討し、実態調査計画書を作成する。 ・実態調査計画書に基づき、季節ごとの調査を実施する。 ・市内のいきものの情報を市民に伝えるための「いきものマップ」の作成を検討する。
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
野生動植物の生息・生育場所が把握されている。 外来生物の生息・生育場所が把握されている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標・事業費		指標名称	単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績
活動指標	A	現地調査回数	回	0	0	2	0
活動指標	B						
成果指標	C						
成果指標	D						
事業費　計			千円				
財源内訳		ア 国	千円				
財源内訳		イ 県	千円				
財源内訳		ウ 地方債	千円				
財源内訳		エ その他	千円				
財源内訳		オ 一般	千円				

R02年度実績の評価

成果実績評価

【活動指標の状況】
順調

【成果指標の状況】
未設定

【成果向上余地】
未設定

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価		
R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	－

全国植樹祭理念継承事業

[1283]

事業の位置づけ　　一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	53-0902	実施計画	対象
施策	03	身近な緑・水辺環境の保全と創出	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	09	（施策の総合推進）	担当	市民生活部 農業支援室		

事業の概要（目的、手段）

事業目的と概要（02年度分）	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
第70回全国植樹祭参加者 愛知県、市民、小中学生	【実施事業】 ・緑の募金（家庭募金）の実施開始（平成29年4月～） ・全国植樹祭関連イベントの開催（平成30年～令和2年） ・親子植樹イベントの開催（令和元年） ・記念誌の作成（令和元年） ・みどりの少年団各種イベント（学習教室、交流会、交歓会）への参加⇒中止 ・ひまわり事業（8,11月にひまわりを咲かせる） 【全国植樹祭概要】 開催日：令和元年6月2日（日） 主催者：（公社）国土緑化推進機構及び愛知県 主要行事：天皇皇后両陛下によるお手植え・お手播き、各種表彰、記念植樹など ※「全国植樹祭推進事務」から名称変更（令和2年度から）し、これに伴い指標を変更 ＜変更前の指標＞（令和元年度まで） 活動指標A：市記者クラブ加盟社等への情報発信回数 活動指標B：外部関係者との打合せ開催回数 成果指標C：新聞、雑誌等で報道された第70回全国植樹祭に関する記事の件数 成果指標D：緑が多く、自然に恵まれていることが本市の魅力・良い点であると思う市民の割合
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
・全国植樹祭の開催やＰＲを通じて、森林や緑に対する理解を深められている。 ・多くの市民が全国植樹祭に関わり、「全員参加のまちづくり」が推進されている。 ・全国植樹祭の開催を契機に、本市の魅力が発信されている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標・事業費		指標名称	単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績
活動指標	A	苗木配布本数	回	10	7		100
活動指標	B	助成件数	回	18	10		-
成果指標	C	緑が多く、自然に恵まれていることが本市の魅力・良い点であると思う市民の割合	件	27	44		-
成果指標	D		%	62.8	64.6		-
事業費　計			千円	24,699	16,032	132	20
財源内訳		ア 国	千円				
財源内訳		イ 県	千円	5,000			
財源内訳		ウ 地方債	千円				
財源内訳		エ その他	千円	1,737			
財源内訳		オ 一般	千円	17,962	16,032	132	20

R02年度実績の評価

成果実績評価	
【活動指標の状況】 **一部遅延あり** 【成果指標の状況】 **維持・横ばい** 【成果向上余地】 **余地が小さい・なし**	（原因）全国植樹祭後の継承事業への市民の協力が得られにくくなっている。

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価		
R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	―